



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州

信州駅ステーションキャンペーン 2017.7.1～9.30

2017年3月4日

JR東日本 長野支社



トランススイート 「TRAIN SUITE 四季島」 姨捨駅でのおもてなし内容について

2017年5月から運行開始を予定しているクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の停車駅(1泊2日コース/春～秋)となる、姨捨駅でのおもてなし内容について、具体的な内容が決定しましたのでお知らせいたします。

また、夜景バーとして整備を進めてまいりましたラウンジの名称がこのたび決定しましたので、あわせてご案内いたします。



「TRAIN SUITE 四季島」の運行を通じて、地域のさまざまな魅力を掘り起こし、情報を発信することで、地域の活性化に貢献してまいります。

1 「TRAIN SUITE 四季島」の旅 姨捨駅でのおもてなし

(1) コースの行程

2017年5月より運行開始する1泊2日コース(2017年度は5月～11月で運行)において、1日目の夜に姨捨駅に停車いたします。



(2) 姨捨駅滞在時のメニュー

「TRAIN SUITE 四季島」の旅にご参加いただいたお客さまは、今では主に普通列車でしか体験できないスイッチバックを行い、姨捨駅へと到着します。約1時間の姨捨滞在中で、昔から肥薩線矢岳越え(九州)、旧根室本線狩勝峠(北海道)と合わせて「日本三大車窓」と言われた善光寺平の夜景をお楽しみいただくのはもちろんのこと、地元のみなさまのご協力により、観光のご案内や信州が誇る味噌を中心とした地元名産品の販売を行います。

さらに夜景を楽しむバーラウンジ内ではホテルメトロポリタン長野の料理人が信州の食材を使ったオードブルボックスを製作、「TRAIN SUITE 四季島」での夕食後のお客さまに地酒やワインとともに味わっていただきます。



窓に広がる姨捨の夜景、地域素材の食・飲みもの、そして地元の方々とふれあいと、余すところなく信州を味わっていただくことで、姨捨が「TRAIN SUITE 四季島」の旅の中でもより一層記憶に残る場所となることでしょう。

【オードブルボックス】

お客さまに提供するオードブルボックスについては、飯綱町在住の木芸家の松木啓直氏に器の製作を依頼、中に入れる酒肴はホテルメトロポリタン長野の和食料理長・洋食料理長による調理。地酒との相性の良い、旬に合わせた信州食材を楽しむことができます。



2 夜景バーラウンジについて

姨捨駅駅舎隣接地に建設しておりました夜景バーラウンジについて、地元千曲市と千曲市観光協会及び当社長野支社において検討を重ね、名称を以下の通り決定しました。

また、建設にあたり県内各所のご協力を頂きましたのでお知らせいたします。

(1) 名称

さらしな つき
「更級の月」

(2) コンセプト

日本三大車窓のひとつでもある姨捨駅周辺は、古の平安の頃より名月の里として知られ、いくつもの歌や俳句で詠まれるこの地は歌人や俳人に愛された憧れの地となっております。

これまでも、これからもこの素晴らしい眺望と夜景が語り継がれるとともに昔から伝わる「更級」という地名の響きを伝えたいということから「更級の月」としました。



名称看板のイメージ

(3) 「更級の月」建設に伴い協力いただいた方々のご紹介

「更級の月」の建築において、その資材やデザイン、製作をできる限り信州エリアで行うことを念頭に置いて各所と調整を行った結果、下記の箇所でそれぞれご協力を頂き、より地域性を出した建築に至りました。

そのご協力に対し御礼申し上げます。

① ハイテーブル

駅舎のある地元千曲市の若宮、羽尾、須坂、上徳間、内川、千本柳財産区様より、地域の木材「ヒノキ」をご提供いただき、地元の株式会社山崎屋木工製作所様で加工をしていただきました。

テーブルのアクセントとして、千曲市の名産でもある杏の木を使用し、姨捨駅舎の窓枠の形である亀のモチーフを埋め込んでいます。



② ハイチェア・ローテーブル・ソファ

飯綱町在住の木工芸家の松木啓直氏に製作いただきました。製作物の多くに県産材の木材を使用しています。

ハイチェアは、エンジュ材を使用したクリアー仕上げのデザインとなっており、背面にはアクセントとして黒檀のくさびが施されています。

ローテーブルは、横から見ると巨木の丸太をイメージし存在感のあるテーブルとなっています。また、正面から見ると、神社や寺の建物に見られる屋根の装飾からイメージした「くり抜き」のデザインが楽しめます。

ソファの木材はケヤキ拭き漆仕上げとし、座面・背面のクッションには牛皮を使用しています。



③ 梁(はり)

信州木材認証製品センター様より、美しい木目と強さを併せ持った「信州カラマツ」を用いた「信州型接着重ね梁」をご提供いただき、ラウンジ上部にまっすぐ延びる梁に使用させていただきました。

「信州型接着重ね梁」は角材と厚板を重ね合せて、一本の梁材を作り出しており、接着層が少なく木の美しさや無垢材に近い質感のあるのが特徴です。県内に豊富にある、直径が比較的細い木材の有効利用の方法として注目されている材料です。

